

# サプライチェーン強靱化WG 活動計画

2022年5月19日

九州半導体人材育成等コンソーシアム事務局

# サプライチェーン強靱化WG

## 1. 背景・目的

◆半導体は、中国や米国等の主要国が経済安全保障の観点から重要な生産基盤を囲い込む産業政策を展開。国際競争が激化する中、日本においても他国に匹敵する大胆な支援措置など半導体サプライチェーンの強靱化を国家事業として取り組むこととした。

◆政府は成長戦略や半導体デジタル産業戦略を策定。IoT用半導体生産基盤の緊急強化、日米連携による次世代半導体技術基盤、グローバル連携による将来技術基盤といった半導体産業復活の基本戦略を打ち出し取り組んでいるところ。

◆こうした中、我が国のIC生産額ベースで4割を超える九州は、先端半導体の新規立地が予定されるほか、素材や装置、センサー、パワーモジュールといった世界のトップシェアを有する半導体関連産業が集積し、今後も生産拠点等の新規立地や新たな設備投資が予定されるなど、日本の半導体産業復活を支える重要なエリアとなっている。

◆このため、半導体ユーザーや海外企業を含む半導体サプライチェーンの一層の強靱化を図るため、川上から川下までの産業界を中心に産学官で構成する「サプライチェーン強靱化ワーキンググループ」を設置。企業間の取引強化、国内外の産業交流の促進を図る。

## 2. 構成メンバー（委員等）

◆座長 : 株式会社 スズキ 代表取締役社長 鈴木 清己氏

◆座長補佐 : SIIQコーディネーター 神田 誠

◆委員

### 1) 産業界

①半導体ユーザー企業

②半導体材料企業

③半導体製造装置企業

④半導体製造企業

⑤関連中堅・中小企業

### 2) 行政機関

### 3) 協力機関





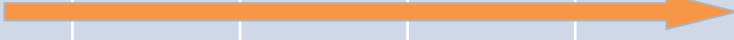
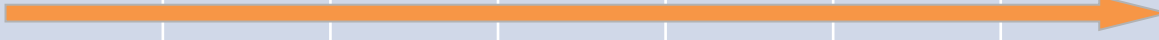
※必要に応じて有識者（アドバイザー）、企業等を招聘

# 2022年度 サプライチェーン強靱化WG 活動計画

2022年度												
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンソーシアム		● 第1回会合 5/19									● 第2回会合	
SC 強靱化 WG	WG 会合	● 初回会合 5/18		● WG 7月		● WG 9月				● WG 1月		
	1) 取引 強化	10年後のサプライチェーン強靱化の戦略検討										
	2) 海外 産業 交流 促進	グローバルマッチングプラットフォームの構築検討										
					★ 海外調査							★ 海外調査





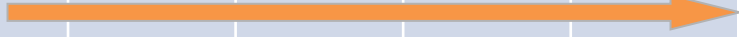
# 2022年度 サプライチェーン強靱化WG 活動計画

## 2022年度

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
WG 会合	● 初回会合	5/18	● WG 7月		● WG 9月				● WG 1月		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>10年後のサプライチェーン強靱化の戦略検討</b> </div> <div style="display: flex;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold; font-size: 24px; margin-right: 10px;">1) 取引 強化</div> <div> <p>① 企業間取引の現状・課題・ボトルネックの整理  </p> <p>② ユーザーの半導体産業へのニーズの整理  </p> <p>③ 半導体部材等の調達に関する実態・ニーズ分析  </p> <p>④ 先端半導体の実用化に向けた要素技術のニーズ分析  </p> <p>⑤ レガシー設備・工場における活用シーズ調査  </p> <p>⑥ 各県等九州内、九州外地域との連携方策  </p> </div> </div>											

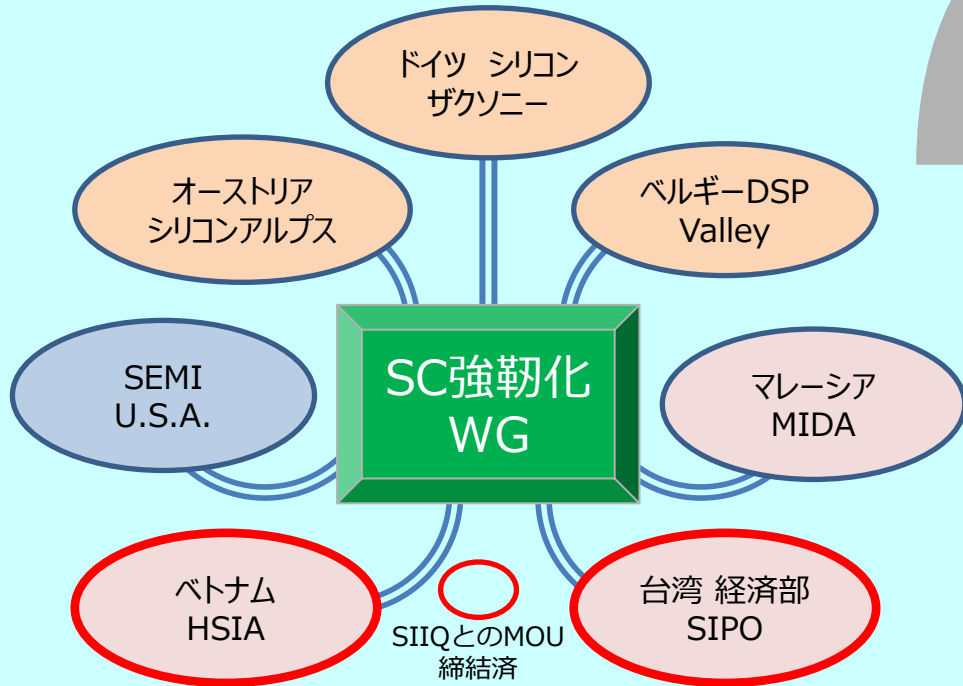
# 2022年度 サプライチェーン強靱化WG 活動計画

## 2022年度

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
WG 会合	● 初回会合	5/18	● WG 7月		● WG 9月				● WG 1月		
グローバルマッチングプラットフォームの構築検討											
2) 海外 産業 交流 促進	①九州企業・地域の海外交流の実態分析 										
	②国内外先進事例の調査・分析 										
	③九州と海外との継続交流・マッチング手法の検討・協議 (ミッション派遣による海外企業等との協議を含む) 										
	④物流、社会インフラ環境の実態整理 										
	⑤交流深化必要な海外との産業交流のあり方の整理 										

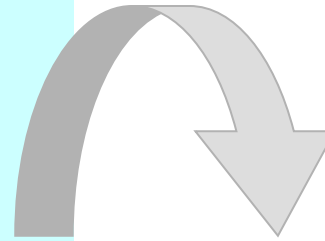
# サプライチェーン強靱化WG：活動イメージの紹介

【グローバルマッチングプラットフォーム】



- ① サプライチェーンにおける課題・シーズ・ニーズ等を整理し、海外支援機関を通して海外企業との連携を図る。
- ② SIIQでの連携実績を活用し、その連携方法をWG内で議論して進める。

**※WG：海外展開の戦略策定と実行を進める。**



- ① WG成果をデータで保存・管理し長期的に活用可能なシステムを構築
- ② 国内・外の支援機関ともクラウド経由で連携

